



## News Release

News announced 07/07/2017

### **Kanpai!** 日本国外で世界的に影響のある日本酒審査会「インターナショナル・ワイン・チャレンジ 日本酒部門」の2017年チャンピオンが **Oscars of the Wine Trade** の場で発表 日本のお酒に人気が高まる中、IWC 日本酒部門は今年最大のチャンピオンを発表

昨夜、オスカー映画祭のワイン版として知られる「IWC アワードディナー」で、世界的に影響のある日本酒審査会「インターナショナル・ワイン・チャレンジ 日本酒部門」の2017年チャンピオンを公開した。

日本航空株式会社 (JAL) がスポンサーの「2017年 IWC 日本酒部門チャンピオン」は東北・岩手県産の「南部美人・特別純米 2017」が受賞し、この日本酒は千以上ものエントリーと激しい競争の結果、頂点となるチャンピオンを獲得した。豊かで深みがある中に、爽快でフローラルな特徴を持ち、ベルベットの様な口触りで62名の審査員を魅了した。この勝利は年間200Kリットルの日本酒を醸造する小さな醸造所が押し上げ、世界的な注目を集めている。

IWC 日本酒部門は適度な価格の日本酒にスポットする、酒サムライがスポンサーの「2017年グレート・バリュー・サケ・アワード」も発表した。グレート・バリュー・アワードの資格は、720mlを¥1,000(約£7)未満で販売していると同時に、IWC 審査会にて金メダル若しくは銀メダルを獲得した事が条件とされる。今年と同賞受賞は「一ノ蔵 無鑑査本醸造 甘口」に渡った。ミディアムボディで、その洗礼された甘い果実の味覚とセイボリーの感覚に審査員は感銘した。品質は価格設定が信じられない程である。

一ノ蔵は2017年グレート・バリュー・サケ・アワードに加え、「2017年 IWC サケ・ブルーワー・オブ・ザ・イヤー」でも賞を獲得。同賞は2016年に IWC 日本酒部門のホストを務めた兵庫県がスポンサーである。更に一ノ蔵は2つの金メダル、2つの銀メダル、2つの銅メダルを大吟醸、純米大吟醸、古酒、スパークリングの4つに渡るカテゴリーで受賞を果たした。

インターナショナル・ワイン・チャレンジのイベント・ダイレクターであるクリス アシュトン氏コメント：日本酒はまさに多様で魅力的な飲み物である。毎年 IWC 日本酒部門を通して、新たに日本酒に恋に落ちてしまう理由を発見します。我々の厳密なアプローチと国際的な審査員は世界で認められる実に特有害な審査会を作り出します。「南部美人」はチャンピオンの受賞で、世界的な注目を集める事となり、「一ノ蔵」は美味しい日本酒をリーズナブルな価格で見つけるられる事を証明してくれました。

昨夜、アワードの一環で「2017年マーシャント アワード」も同時に発表された。その年の日本酒専門店に賞が贈られ、IWC は「Tengu Sake」と発表。Tengu Sake は英国のバーやレストラン、消費者に高品質な日本酒を提供する事を専門にする、英国で日本酒の注目を高める上で、重要な役割を果たした。

これらのアワードは4月に審査を開始し、厳密な審査過程を通し広範囲に及ぶ頂点となる。酒サムライをパートナーとし、15か国から参加する62名の審査員が3日間に渡りブラインド・テイस्टィングを実施。審査の結果、日本酒部門は合計574個のメダルを輩出し、内訳は金メダル56個、銀メダル225個、銅メダル293個の結果となった。

2016年、10周年を迎えたお祝いに兵庫県で開催した IWC 日本酒部門審査会は、今年ロンドンに会場を戻した。日本での開催は日本だけでなく他の国々でも審査会の注目を集め、IWC 日本酒部門はこの魅力ある日本酒の成長を世界で更に加速するため、将来、日本での日本酒部門審査会の主催も予定している。



## News Release

クリス アシュトン氏は続けて：

酒サムライと IWC は共に、世界で更なる日本酒への注目向上に努めるとコミット。複数の渡りスポットを浴びた優れた受賞を祝し、より多くの人々が日本酒を楽しみ、日本酒産業自体の更なる発展を支えたいと考えています。

--- ENDS ---

インターナショナル・ワイン・チャレンジとは？

今年で 34 回目を迎えるインターナショナル・ワイン・チャレンジは世界で最も慎重で優良な審査会として受け入れられ、審査会では全てのワインそれぞれのスタイル、地域、ヴィンテージに対し忠実に、ブラインド・テイastingで審査を実施。メダル獲得のワインはマスター・オブ・ワインを含む最低 10 名の異なる審査員により、少なくとも 3 回の機会に分けてテイastingが行われる。メダルは金・銀・銅とコメンディットの種類があり、IWC は消費者が素晴らしいワインを楽しめる様コミットし、受賞のワインに張られるメダル・ディスプレイが品質と信頼の証しとなる。

インターナショナル・ワイン・チャレンジ 日本酒部門とは？

IWC 日本酒部門審査会は 2007 年に導入され、エントリーは飛躍的に成長し、日本をはじめ、カナダ、ノルウェー、米国からの参加がある。IWC は国際的な日本酒専門家を審査員として迎え、IWC ワイン部門同様に厳格なプロセスに忠実に審査を実施し、審査員の経験と組み合わせることで IWC 日本酒部門審査会を最も信頼できるものにする。

**For more information please contact:**

**Manifest London**

Helen Kenny & Elly Barham Marsh  
t. 0203 1379270  
m. 07712 877 972  
e. [IWC@manifest.london](mailto:IWC@manifest.london)

**IWC**

Chris Ashton  
t. 07884 063405  
e. [Chris.Ashton@wrbm.com](mailto:Chris.Ashton@wrbm.com)